

VI 整備新幹線の整備

新幹線（東海道・山陽・東北・上越・北陸・九州・北海道の各線）は、昭和 39 年の東海道新幹線開業以来、都市間旅客鉄道の主要部を担い、日本経済と国土の均衡ある発展に寄与してきました。

現在、全国新幹線鉄道整備法に基づき、整備新幹線の建設が推進されています。

また、整備新幹線の未着工区間における工事を円滑に実施するための調査などの建設推進高度化等事業を実施しています。

鉄道助成部（助成勘定）では、これらの事業を行う当機構の事業監理部（建設勘定）に対し、既設 4 新幹線を J R 本州 3 社に譲渡した収入の一部を原資とする事業資金と、国からの補助金の繰り入れを行っています。

1 整備新幹線の建設

<整備新幹線整備事業費補助、整備新幹線整備事業資金>

(1) 制度の概要

現在工事を進めている、整備新幹線3線3区間（北海道）[新函館北斗～札幌]、北陸[金沢～敦賀]、九州（西九州ルート）[武雄温泉～長崎]の整備事業に対し、その経費の一部を補助する。

（※ “事業資金” については、下記（2）④の（注）を参照）

(2) 制度の内容

① 補助対象

工事費（用地費及び本工事費）＋管理費＝事業費

② 補助率

【事業費補助】 定額（全国新幹線鉄道整備法に基づく法律補助）

“事業資金” 定額（JRからの収入）

③ 補助の仕組

【事業費補助】・“事業資金”

国（公共事業関係費）・ 既設新幹線譲渡収入	地方公共団体	貸付料等収入
3分の2	3分の1	

④ 当初予算額の推移（単位：百万円）

年度	H29	H30	R1	R2	R3
【事業費補助】	75,450	75,450	79,192	80,372	80,372
“事業資金”	46,437	-	16,300	16,300	16,300

（注）既設4新幹線（東海道・山陽・東北・上越）をJR本州3社（JR東日本・JR東海・JR西日本）に譲渡した収入（既設4新幹線譲渡収入）を原資とする“事業資金”を整備新幹線の建設等に充当している。（平成30年度を除く）

⑤ 問い合わせ先

鉄道助成部助成第一課（業務第一担当） TEL 045-222-9134 FAX 045-222-9149

（参考）建設中の区間の線区別事業費（令和3年度）（単位：km、百万円）

線名等		線路延長	事業費
北海道新幹線	新函館北斗～札幌	211	95,000
北陸新幹線	金沢～敦賀	125	330,000
九州新幹線（西九州ルート）	武雄温泉～長崎	66	61,000
計		402	486,000

（注）当初予算ベース

2 未着工区間の調査等

<整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金>

(1) 制度の概要

整備新幹線の未着工区間における設計施工方法等調査や整備新幹線の整備効果を高めるための軌間可変技術調査等に対し補助を行う。

(2) 制度の内容

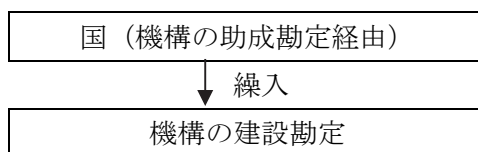
① 補助対象

- ・ 北陸新幹線のうち未着工区間（工事実施計画の認可区間を除く区間）における、環境影響評価、工事を円滑に実施するための経済設計調査、設計、施工法調査及び地域計画等との調整のための調査に要する経費
- ・ 整備新幹線の整備方策の検討に必要な軌間可変技術調査に要する経費

② 補助率

定額（全額国費負担）

③ 補助の仕組



④ 当初予算額の推移（単位：百万円）

年度	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
予算額	2,600	2,500	1,561	1,438	1,400

⑤ 問い合わせ先

鉄道助成部助成第一課（業務第一担当） TEL 045-222-9134 FAX 045-222-9149

(3) 事業の概要

未着工区間における所要の調査：設計施工法等調査、経済設計調査等

※「軌間可変技術調査」については、現在実施中の事業はなし。

3 新線調査等

<新線調査費等補助金（都心直結線）>

(1) 制度の概要

都心—空港・郊外直結鉄道の調査に対し補助を行う。

(2) 制度の内容

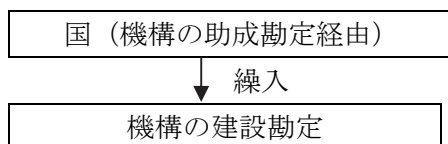
① 対象経費

都心—空港・郊外直結鉄道の整備に必要となる基礎資料等を作成するための調査に要する経費

② 補助率

定額（全額国費負担）

③ 補助の仕組



④ 当初予算額の推移（単位：百万円）

年 度	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
予算額	40	40	0	0	0

⑤ 問い合わせ先

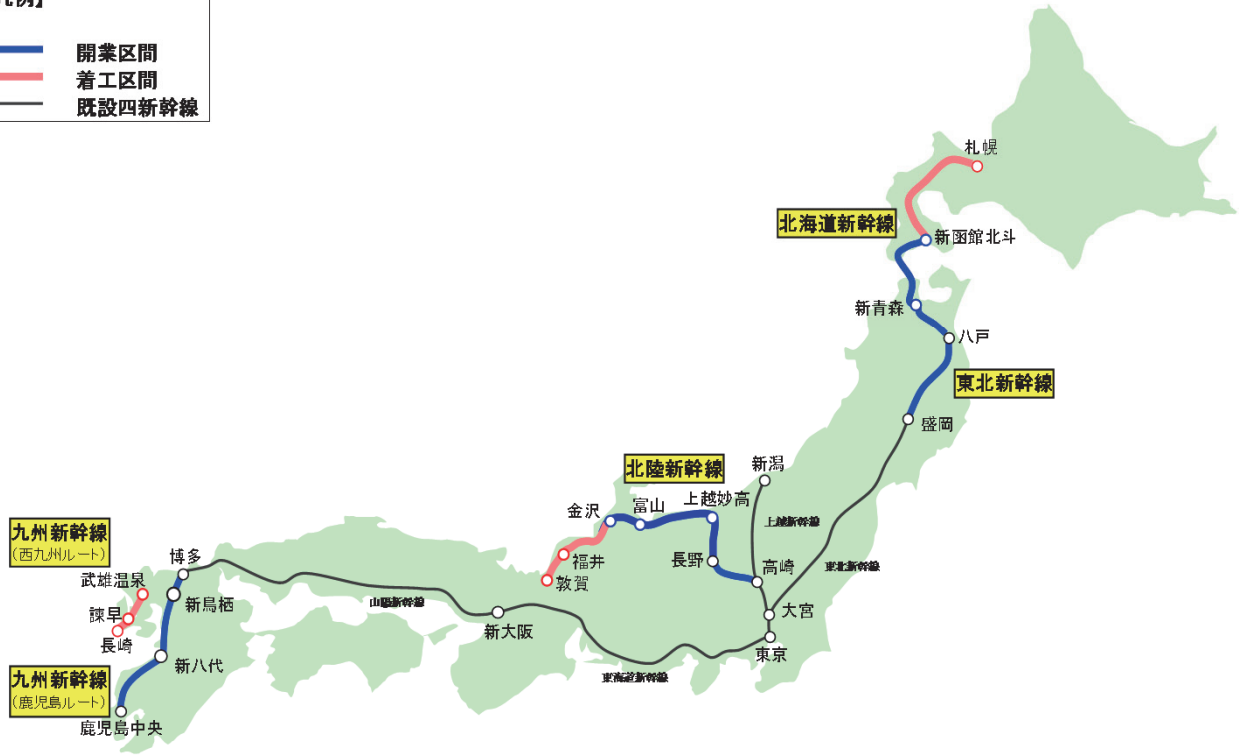
鉄道助成部助成第一課（業務第一担当）TEL 045-222-9134 FAX 045-222-9149

(3) 事業の概要

現在実施中の事業はなし。

整備新幹線路線図

【凡例】	
—	開業区間
—	着工区間
—	既設四新幹線



新幹線鉄道の概要(令和2年度版)

(令和3年3月末現在)

路線名		区間	延長(km)	基本計画決定	整備計画決定	現況等	
営業線	東海道	東京～新大阪	515	—	—		S39.10.1開業
	山陽	新大阪～博多	554	—	—	新大阪～岡山	S47.3.15開業
		岡山～博多					S50.3.10開業
	北海道	新青森～新函館北斗	149	S47.6.29	S48.11.13		H28.3.26開業
		東北	東京～盛岡	496	S46.1.18	S46.4.1	大宮～盛岡
	上野～大宮						S60.3.14開業
	東京～上野						H3.6.20開業
	盛岡～八戸		97	S47.6.29	S48.11.13		H14.12.1開業
	上越	八戸～新青森	82	S47.6.29	S48.11.13		H22.12.4開業
		大宮～新潟	270	S46.1.18	S46.4.1		S57.11.15開業
	北陸	高崎～長野	117	S47.6.29	S48.11.13		H9.10.1開業
		長野～金沢	228	S47.6.29	S48.11.13		H27.3.14開業
	九州(鹿児島ルート)	博多～新八代	130	S47.6.29	S48.11.13		H23.3.12開業
新八代～鹿児島中央		127	S47.6.29	S48.11.13		H16.3.13開業	
計			2,765				
工事線	北海道	新函館北斗～札幌	211	S47.6.29	S48.11.13		H24.6.29着手 新青森・新函館北斗間の開業から概ね20年後(令和12年度末完成予定)
	北陸	金沢～敦賀	125	S47.6.29	S48.11.13		H24.6.29着手 長野・金沢間の開業から概ね10年後(令和5年度末完成に向けて最大限努力)
	九州(西九州ルート)	武雄温泉～長崎	66	S47.12.12	S48.11.13		H24.6.29着手 工事実施計画の認可の日(H24.6)から概ね10年後(令和4年秋頃完成予定)
	計			402			

延長の計は、四捨五入の関係で合わない場合がある。